

南風原の物作り一堂に 第1回物産展 28日まで



南風原町の特産品や町内で作られた多彩な作品が並んだ「第1回ふえーばる物産展」=22日、南風原町喜屋武の南風原文化センター

【南風原】南風原町の特産品や町内で作られた作品を展示即売する「第1回ふえーばる物産展」(同実行委員会主催)が22日、南風原文化センターで始まった。28日まで(水曜日は休館)。町内の

15事業所、5個人が琉球の産物や小物類や木工品、生活雑貨、菓子など140品目を出展。多くの人が訪れ、出展者と会話を交わしながら、商品を選ぶ姿が見られた。同センターは町内の物

産や町民の作品を紹介するコーナー設置を進めており、展示会は消費者ニーズを把握することも狙い。

古着の端切れを再利用した多彩な色合いが特徴のコースターや鍋敷きを出展した田場直子さん(58)は「町内で、ものづくりをしている人と出会う機会になり楽しい」と笑顔で語った。

福祉施設で製作した作品も数多く並び、各施設の運営内容もパネルで紹介された。南風原障がい者支援センター福祉事業所「はんど in はんど」は手作りのせっけんやクッキーを紹介。利用者の儀保志織さん(31)は「南風原産のカボチャのパウダーを入れたクッキーの包装を担当している。ここに出品する」といい宣伝になる」と話した。

南風原の特産品一堂に

28日まで文化センター

【南風原】町内で生産される小物や食品、焼き物など南風原を象徴する物産品を広くPRしようと第1回「ふえーばる物産展」(主催・同実行委員会)が南風原文化センターで開かれている。写真。出展者らは「多くの人に南風原の特産品を知ってほしい」と来場を呼び掛けている。



業協同組合など15団体、5個人が力作約140点を出品。会場には伝統的な餅を使った小物や器、町内で生産される菓子など町の特産品が所狭しと並んでいる。

町内の福祉施設が多く出展しているのも特徴。障害者支援施設「太希おきなわ」の神里司さん(36)は「利用者が丁寧に作った品々を見てほしい。施設でどのような作業をしているか知ってもらいたい機会でもある」と意義を話した。品定めをしていた大城喜仁さん(84)は「どれも立派な品で、特に施設利用者の技術には驚いた。南風原の特産品がこんなにあるとはね」と感心していた。

同展は28日までで、入場無料。問い合わせは同会事務局、電話098(8889)2533。